

# 令和 6 年度 事業報告

(2024 年 6 月 1 日～2025 年 5 月 31 日)



一般社団法人千代田区観光協会

## 目 次

1	地域との連携及び支援事業	3
	(1) 地域関係団体イベントとの連携・支援	
	(2) 地域観光団体等との連携	
2	観光資源磨き上げ創出事業	5
	(1) 観光資源磨き上げ創出事業	
3	観光イベント事業	6
	(1) さくらまつり	
	(2) 皇居千鳥ヶ淵 灯ろう流し	
	(3) 写真コンテスト	
	(4) 北の丸公園活用	
4	観光情報発信事業	11
	(1) ウェブサイト運営	
	(2) 外国人向け情報発信	
	(3) ガイドブック制作	
	(4) 観光案内所の運営	
	(5) 展示会等出展	
	(6) 皇居乾通り一般公開への協力	
5	観光人材育成事業	15
	(1) 観光ガイド団体等との連携	
6	観光協会推進事業	16
	(1) 会員交流会の実施	
	(2) 協会事業PR等	
	(3) 地域ブランドの企画・販売	
	(4) 観光拠点施設運営	
	(5) 観光行事等に関する後援等	
	(6) 社員総会・理事会の開催	
7	管理運営	20
	(1) 事務局人件費	
	(2) 事務局の維持管理	

# 1 地域との連携及び支援事業

## (1) 地域関係団体イベントとの連携・支援(補助・拡充)

### □事業内容

千代田区内で行われる各種伝統行事や地域のイベント等を観光資源と捉え、関係団体と連携し、広域的にPRを行うとともに、プレスリリースやニュースレターなどでマスメディアに発信していきます。

### □事業内容

#### (1) 季刊発行のガイドブック

区内及び近隣区の観光案内所や会員ホテルのほか、秋と春はJR東日本、東京メトロ、都営地下鉄の各駅で配布し、幅広く千代田区をPRしました。

#### 【実績】

- ・夏ガイド制作 5月／ 6,000部(昨年 6,000部)
- ・秋ガイド制作 9月／121,000部(昨年 123,000部)
- ・冬ガイド制作 11月／ 20,000部(昨年 18,000部)
- ・春ガイド制作 3月／130,000部(昨年 134,000部)

#### (2) 地域イベントのプレスリリース・PR

地域イベントや観光情報等についてプレスリリース・ニュースレターの作成を行い、新聞、テレビ、雑誌等のマスメディアに発信しました。

【実績】 リリース：6件 ニュースレター：3件

#### (3) 観光大使リラックマ出演経費

地域を盛り上げるためのイベントなどに、千代田区観光協会観光大使リラックマが出演する経費を一定の条件のもと支援します。

また1月に「禮」という和楽器や日舞など伝統芸能に関するパフォーマンスを行う若手チームが千代田区観光協会文化観光大使に就任しました。

【実績】 観光大使出演・ウェブ修正：3件

#### (4) 各種イベント・観光スポット撮影

ウェブサイトやプレスリリース等で発信するための素材を動画やドローン等でも撮影しました。

□決算額：25,263,430円(予算額 25,528千円)

## 地域 PR 実績

6月	プレスリリース	「皇居千鳥ヶ淵 灯ろう流し」は今年も7/24(水)・25(木)の2夜連続開催 リモート参加が叶う、贈り灯のメッセージをウェブ記入できるスタイルが初登場！例年大人気の「船上贈り灯」や「贈り灯」への参加申し込みは6/20(木)より開始
9月	ニュースレター	サウナと温泉の女神 清水みさとさんと巡る！ サクッと“ととのう”「ちよだの名湯」5選 ととのった後に絶対に食べてほしい絶品「サ飯」もご紹介
10月	プレスリリース	皇居外苑の一部を特別貸切にして初開催！プレミアム体験イベント Special experience in “The Heart” of Tokyo にて 開催記念の限定オプション イベントの実施が決定！ ～ 浮世絵や美景・美食、紅葉など、日本文化のさまざまな側面を楽しめる特別イベント～
11月	ニュースレター	東京駅周辺イルミネーションガイド『CENTRAL TOKYO ILLUMINATION ガイド 2024』発行記念 シャンパンゴールド色の電飾で彩られる約286本の街路樹や人気キャラクターのコラボなど 多様なイルミネーションが見られる千代田区のおすすめスポット5選
1月	プレスリリース	日本の文化・伝統の魅力を国内外に発信！ 初の千代田区観光協会文化観光大使に、若き伝統芸能集団「禮(REI)」を任命
2月	プレスリリース	「江戸のメディア王 篤重 × 千代田区観光協会」 大河ドラマの主人公 篤重とポップカルチャーの中心地が時代を超えて交わるプロモーションをスタート！
2月	プレスリリース	桜の名所・千鳥ヶ淵 世界中から観光客が訪れる「千代田のさくらまつり」 期間拡大！3月12日(水)～4月23日(水) 周辺地域の様々なイベントを総称して開催
3月	ニュースレター	東京の春の風物詩 千代田のさくらまつり 約700mにわたる幻想的な光景 皇居千鳥ヶ淵 夜桜ライトアップの開催期間が3/28～4/8に決定 ＜初登場＞売上の一部が桜の植え替え費用につながる！千鳥ヶ淵ボート場 並ばずに乗船可能なスマートチケットの発売が3/12～開始（事前購入制）
4月	プレスリリース	もしも篤屋重三郎が令和に転生したら 「AI篤屋重三郎」が編集長を務める千代田区カルチャー誌 『千代田細見』5月1日より千代田区内にて配布開始 表紙は日本初公開！漫画家・しりあがり寿さんのパロディ 浮世絵

## (2) 地域観光団体等との連携(自主・継続)

### □事業内容

これまで区内大学・専修学校等と連携し、学生による観光マップや観光PR動画の制作協力や、千代田区の水辺の資産である川を活用する団体が実施する神田川・日本橋川活用事業への支援などにより、区の魅力を発信してきました。

今後、新たな千代田区の魅力をアピールする地域の観光団体等とも連携、協力を進めていきます。

□決算額：280,000円（予算額 700千円）

## 2 観光資源磨き上げ創出事業

### (1) 観光資源磨き上げ創出事業(補助・継続)

### □事業内容

令和7年1月から始まった大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」(NHK)の舞台が江戸城も多く登場し、千代田区にゆかりのある登場人物も多いことから、プロモーションを実施し、歴史愛好家、大河ドラマファンだけでなく、多くの方に千代田区を訪れ、区内を回遊してもらうきっかけとしました。

### 【実績】

ウェブサイトの特集制作、ゆかりの地看板設置、ショートドラマ制作などショートドラマにはTikTokでも実施しています。

□決算額：3,020,804円（予算額 3,000千円）

### 3 観光イベント事業

#### (1) さくらまつり(補助・継続)

##### □事業概要

これまでの「千代田のさくらまつり」は、千鳥ヶ淵緑道のライトアップとそれに伴うボート場の夜間営業の日程を指していました。が、千代田区には千鳥ヶ淵以外にも桜のスポットが数多くあり、そこに紐づく春のイベントが多いことに加え、近年の桜の開花状況の時期が予想しづらくなってきたことから、「千代田のさくらまつり」を千代田区全体での総称とし、地域の関係団体、企業等の協力・連携して開催することとしました。

##### □実施期間 令和7年3月12日(水)～4月23日(水)

(1) 夜桜ライトアップ 3月28日(金)～4月8日(火) 18時～21時

(2) 車両通行規制と新たに緑道の歩行者の一方通行(土日のみ) 9時～21時

ライトアップ期間中、千鳥ヶ淵緑道沿いの車道を通行止めとし、歩行者の安全を確保しました。また混雑緩和のため、千鳥ヶ淵緑道の「歩行者の一方通行(土日のみ)」を実施しました。

期間中来場者数 約624,000人(サンプル日から試算)

(3) 案内所・販売所の設置

千鳥ヶ淵への来場者向けに、ガイドマップ等の配布や観光案内を行いました。また観光協会オリジナルグッズを販売しました。

(4) 観光協会ウェブサイト「さくらまつり特設サイト」

おすすめの桜スポットや期間中の関連イベント、ライブカメラによる桜の開花状況などの情報を発信するほか、会場内の現在の混雑状況をタイムリーに更新し、来場者へ混雑緩和を促す情報提供を行いました。また今年初めて実施したボート場のスマートチケット販売、「得とく周遊キャンペーン」の参加店舗情報や各店舗で使用できるクーポンをサイト上で発行しました。

閲覧数 約616,130 PV(昨年度627,783 PV)

キャンペーン参加数 約80店舗 イベント参加数 約50件

スマートチケット販売数 約2,000枚(経費は地域ブランド企画・販売から支出)

(5) プレスリリース、メディア対応事務局（新）

メディア向けにプレスリリースの配信を行ったほか、取材依頼の一時受けを担う PR 事務局を初めて設置し、TV や新聞等の取材に積極的に対応しました。

(6) リアル謎解きゲーム

観桜客の区内回遊を促すイベントとして、さくらまつり期間の3月12日(水)～4月23日(水)、近隣地域8スポットへ立ち寄る謎解きゲームを実施しました。本年度も昨年に続き謎解きキットを無料配布しました。昨年はテレビ放映等の影響で参加者が多く、昨年度と比較して参加者数が減っているものの、ゲームに参加することで千代田区の魅力に気付いてもらうだけでなく、立ち寄り施設での飲食等、区内での消費行動にも繋がり、回遊施策として一定の効果が得られました。

<謎解きキット>

配布実績 20,000 セット (昨年度配布実績 17,200 セット / 無料)

賞品応募者総数 2,950 名 (昨年度 4,231 名)

(7) 近隣地域周遊ツアー「千代田よりみち Trip」

千代田区観光ガイド連絡会参加4団体による、千鳥ヶ淵周辺スポットをガイドが案内してくれる無料の回遊ツアーを催行しました。日本人だけでなく外国人観光客にも対応できるよう英語ツアーもあわせて実施しました。

<内容>

市ヶ谷(日・英)、神保町(日・英) / 実施 48 ツアー 参加者数 計 158 名

皇居東御苑(英) / 実施 6 ツアー 参加者数 計 11 名

神保町ツアー(日) / 実施 1 ツアー 参加者数 計 6 名

自転車ツアー(日) / 実施 13 ツアー 参加者数 計 7 名

(8) 皇居乾通り一般公開 臨時観光案内所でのガイド配置

宮内庁が主催する「皇居乾通り一般公開」の乾門出口の臨時観光案内所にて千代田区内で活動するガイドを複数名常駐させ、マップの配布や観光案内を行いました。

<実施期間>3月29日(土)～4月6日(日)までの9日間

□決算額 : 106,454,394円 (予算額 112,615千円)

## (2) 皇居千鳥ヶ淵 灯ろう流し(補助・継続)

### □事業概要

夏の風物詩となっている「皇居千鳥ヶ淵 灯ろう流し」を2日間実施しました。観覧者数が年々増加し、千鳥ヶ淵緑道の観覧場所が手狭になってきたことから、令和6年は初めて北の丸公園側も活用し、観覧スペースを設け、さらには北の丸公園第三駐車場の一部にキッチンカーを誘致し、休憩スペースを設置しました。新たな観覧スペースを設けるにあたり、来場者の安全確保のための照明設備の設置、警備員の配置により、経費が増額となりました。

□実施日：令和6年7月24日(水)・25日(木)の2日間(雨天・荒天中止)

※25日は雨天・雷のため中止

### □実施内容

#### 【実績】

- ・ボート乗船(灯ろう3個付)販売数 127艘
- ・灯ろう事前販売数 1,520個
- ・提灯当日販売数 300個
- ・観覧者数 約8,100名(2日間)
- ・キッチンカー 4台

(ボート乗船料、灯ろう製作費については地域ブランド企画・販売から支出)

□決算額：17,224,489円(予算額 15,120千円)



灯ろう流しはインバウンドにも人気

### (3) 写真コンテスト(補助・継続)

#### □事業概要

今年は、初めてInstagramを活用した「#千代田で映え旅Instagramフォトコンテスト」とし、応募数(投稿数)はこれまでの3倍近くに増えました。入選作品は、観光協会が発行する制作物のほか、雑誌やメディア、施設のサイネージ等に写真を提供するなど、広く活用します。

#### 【実績】

- ・ 募集期間 令和6年6月3日～12月25日
- ・ 応募点数 約3,400点 (昨年911点)
- ・ 協賛 38社

□決算額：2,272,000円(予算額 2,585千円)



グランプリ「千代田に重ねる紅葉の記憶」



審査員特別賞「平和を誓う九段の光」

#### (4) 北の丸公園活用(補助・新規)

##### □事業概要

環境省、千代田区とともに観光庁の補助事業「特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・質向上推進」にエントリーし、北の丸公園等を活用した事業を実施しました。当初の計画にはなかったもので、事業費は観光庁の補助金で実施しましたが、補助対象外の経費については、事業の収入と補助金の事業執行の残額を充てることとしました。

##### 【実績】

名称 Special experience in “The Heart of Tokyo”

開催日 令和6年11月20日(水)・21日(木)

場所 皇居外苑北の丸公園(芝生広場)、旧近衛師団司令部庁舎

内容 北の丸公園での野点体験、重要文化財である歴史的建築の旧近衛師団司令部庁舎にて特別な浮世絵鑑賞、北の丸公園での創作料理体験

参加者 111人(食事ありプラン67人、食事なしプラン44人)

□決算額：80,000,000円(予算額 80,000千円)



特別体験事業の様子(北の丸公園)

## 4 観光情報発信事業

### (1) ウェブサイト運営(補助・継続)

#### □事業内容

観光客等のニーズに即した情報提供を行うため、イベント・行事の観光情報や、歴史、文化、食等観光資源などを検索できるデータベース機能を備えるとともに、ホームページのコンテンツの維持管理を行いました。

SNSも千代田区観光インスタグラマー2名を活用し、イベントや新しい観光スポットなどを随時投稿しました。

【実績】年間ページビュー数：2,605,666件

フォロワー数 ×：1.9万人 facebook：8,870人 Instagram：10,200人

□決算額：13,283,050円（予算額 13,625千円）

### (2) 外国人向け情報発信(補助・継続)

#### □事業内容

海外からの観光客が日本を訪れる際、まず東京千代田区に行ってみたく感じてもらえるよう、更なる千代田区の魅力発信を推進するため、外国人向けのSNS発信や、富裕層向け冊子の紙面記事制作などを行いました。

#### 【実績】

ブログ：5件 Instagram投稿：22件

『Tokyo Weekender』月刊誌・ウェブサイト記事掲載2回（7月、11月）

Facebook フィード投稿2回（7月、11月）

Instagram フィード投稿リール投稿各1回（11月）

□決算額：8,621,197円（予算額 10,201千円）

### (3) ガイドブック制作(補助・継続)

#### □事業内容

観光客をはじめ案内所、会員ホテル等観光施設で配布する歴史さんぽMAP、観光バリアフリーマップを最新情報に一部改訂し発行しました。

#### 【実績】

観光バリアフリーマップ（日本語）3,000部

観光バリアフリーマップ（英語）1,000部

歴史さんぽMAP①～④ 計100,000部

□決算額：3,975,400円（予算額 2,480千円）

### (4) 観光案内所の運営(補助・継続)

#### □事業内容

千代田区及び周辺地域の観光情報を発信するとともに、インバウンドを含めた来街者の観光相談に外国語対応できるスタッフが案内する観光案内所を運営しました。案内所では、全国各地のパンフレットやマンホールカード（鉄腕アトム）をもらいに来たり、千代田区観光協会観光大使リラックマなどのオリジナルグッズを購入したりする人で来館者数は増えています。その他にも、神田カレーグランプリのカード交換、スタンプラリーのスポット、区のと涼みスポットなどで協力しました。

#### 【実績】

年間来館者数 日本人 30,983人 外国人 1,584人  
（昨年 日本人 34,792人 外国人 1,210人）

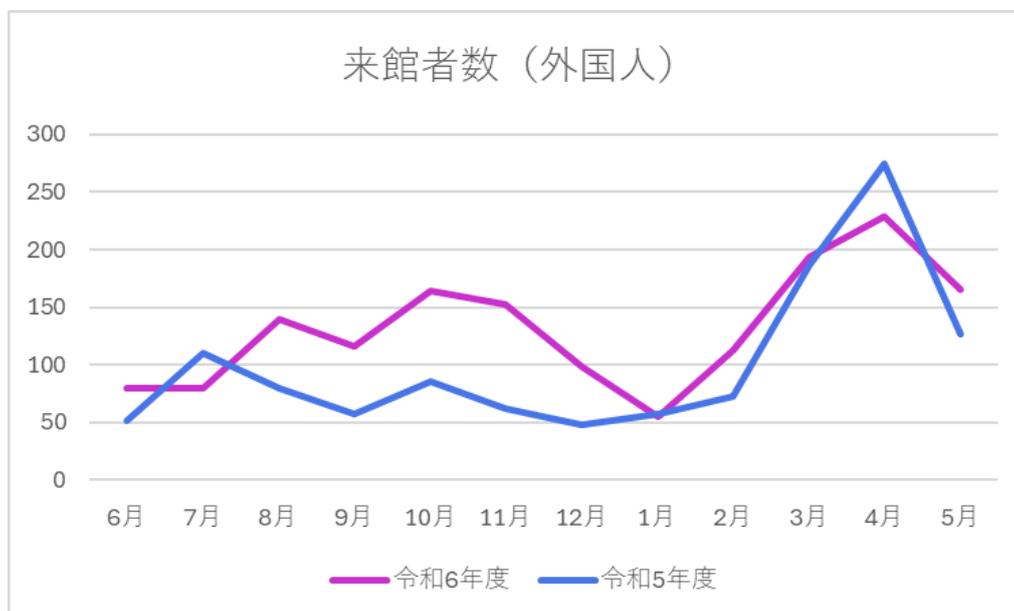
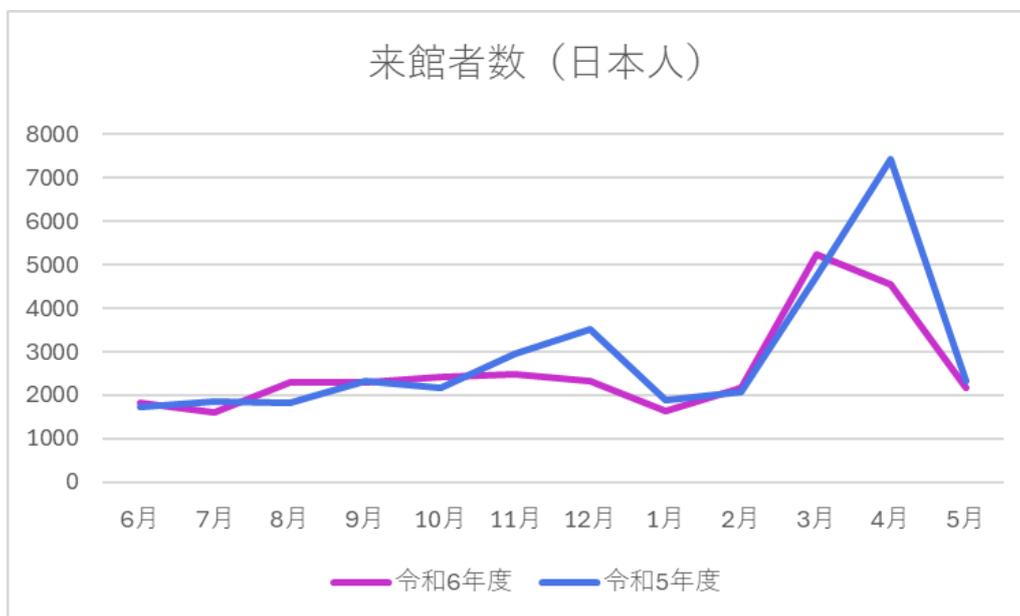
#### □営業日

通年：10時～18時

休館日：第4日曜日（繁忙期は営業）、年末年始

□決算額：16,314,133円（予算額 16,377千円）

## 案内所来館者数



R6 は7月に案内所前の工事があったこともあり、来館者数が伸びなかった。桜の時期は日本人3月 5,238人、4月 4,551人 外国人3月 194人 4月外国人 229人 合計 10,212人 (R5 日本人3月 4,745人、4月 7,425人 外国人3月 186人 4月 275人 合計 12,631人)  
R5 は桜の開花が4月に始まったため、観桜客が4月に多く来館した。

## (5) 東京マラソン出展(補助・継続)

### □事業内容

東京マラソンのフィニッシュ地点が丸の内であることから、マラソン当日、皇居外苑のイベントスペースに千代田区ブースを出展し、走者や観覧者に千代田区を回遊してもらえるよう、観光情報の発信等を行いました。

また東京ビッグサイトで開催された「レジャー&アウトドアジャパン」に今年初めて地方創生ツーリズムブースが設定されたことから出展しました。

### 【実績】

出展：「レジャー&アウトドアジャパン」 令和6年10月16日～18日  
東京マラソン ランナー応援イベント「TOKYO CHEER 2025」  
令和7年3月2日

□決算額：192,500円（予算額 900千円）



レジャー&アウトドアジャパン（東京ビッグサイト） TOKYO CHEER2025（皇居外苑）

## (6) 皇居乾通り一般公開への協力(補助・継続)

### □事業内容

宮内庁が主催する皇居乾通り一般公開に際して、来場者の利便性に資するとともに、来場者が区内の他の地域へ回遊することに繋げるため、皇居乾門前に観光協会の案内所を設置し、観光案内を実施しました。また、今年は乾門を出てから休憩できる場所として、公文書館の敷地内にキッチンカーを設置しました。

### 【実績】

秋季 令和6年11月30日～12月8日  
※春季は今回から出えん金より支出

□決算額：667,060円（予算額 935千円）

## 5 観光人材育成事業

### (1) 観光ガイド団体等との連携(補助・継続)

#### □事業内容

千代田区内で活動する観光ガイド団体に所属するガイドが自身のスキルアップできるようアクセシブルツーリズムやインバウンドをテーマとした研修・講演会を実施しました。また、これまで育成してきた観光ボランティアガイドが実施する丸の内コース、神田神保町コースの無料ツアーを実施しました。

#### 【実績】

千代田区観光ガイド連絡会 研修・講演会 2回開催  
観光ガイド育成 無料ガイドツアー44回開催 参加者 135名

□決算額：6,474,836円（予算額 13,590千円）



丸の内コースのツアーの様子

## 6 観光協会推進事業

### (1) 会員交流会の実施(自主・継続)

#### □事業内容

会員と協会及び会員相互の更なる連携・交流を図ることを目的として、会員交流会を開催しています。今年は、大河ドラマに関するプロモーションを実施することから、ロゴ商品の制作や企画等についての説明会と合わせて開催しました。

#### 【実績】

日時：令和6年12月11日(水)19時～21時

会場：TSUTAYA BOOKSTORE MARUNOUCHI シェアラウンジ

参加数：29社 36名

□決算額：283,574円(予算額 1,000千円)



会員交流会の様子(会場：TSUTAYA BOOKSTORE MARUNOUCHI)

### (2) 協会事業PR等(自主・新規)

#### □事業内容

これまで会員交流会の実施等に含んでいた観光協会の広告費や会費等を切り分けて、新たに項目を追加しました。

□決算額：1,076,416円(予算額 1,000千円)

### (3) 地域ブランドの企画・販売(自主・拡充)

#### □事業内容

千代田区の地域ブランドとして定着させるとともに、観光協会の財源確保の一助とするため、観光協会観光大使リラックマのグッズを含めたオリジナルグッズの企画・販売等を行っています。千鳥ヶ淵の桜や、皇居外苑の黒松を利用した入浴剤は、会員ホテルでのアメニティなどにも活用いただいています。これらの一部商品は、売上げの一部を千代田区のさくら基金や国民公園協会に寄付しています。

また今年はさくらまつりの時期に、千鳥ヶ淵ボート場のボートを事前購入できる仕組みを構築し、「スマートチケット」という形で主にインバウンドの方たちの購入に繋がりました。そこにかかったシステム開発費やスタッフ費等もここに計上されています。

□スマートチケット経費・ボート代、灯ろう流しのボート代、灯ろう 2,000 個製作費等

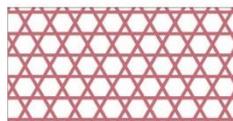
#### □オリジナルグッズ

SAKURA BATH、KUROMATSU BATH、桜ストラップ、ポストカード、観光大使リラックマコラボグッズ他

□決算額：20,508,465 円（予算額 8,000 千円）



VISIT CHIYODA  
TODAY



観光協会オリジナル手ぬぐい



観光大使リラックマの浮世絵クリアファイル

#### (4) 観光拠点施設運営（自主・継続）

□事業内容

万世橋出張所・区民館の5階を区から借り受け、そこに観光事業の拠点となる施設千代田ツーリズムイノベーションベース（CTIB）を新たに設けました。施設の運営者は、一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）で、観光協会だけでなく、地域団体、民間企業等と連携し、スポーツ・文化・ツーリズムの視点から、新たな千代田区の観光事業を創設していきます。

□決算額：5,609,442円（予算額 7,500千円）

#### (5) 観光行事等に関する後援等（自主・継続）

□事業内容

地域団体、民間団体、民間企業等が主催するイベント、講演会、記念式典等の行事に対し、千代田区観光協会の後援名義・協力名義を付して協力しました。

【実績】後援28件 協力14件 共催1件  
（昨年 後援26件、協力8件）

## (6) 社員総会・理事会の開催(自主・継続)

### □事業内容

役員を選任、事業計画、事業報告等、観光協会の重要議案の審議等を行うため、総会及び理事会を開催しました。

#### ◎定時社員総会

日時：令和6年8月23日(金) 16時～

会場：東京會館(ウイステリア)

議案審議：役員を選任、令和5年度事業報告・令和5年度収支決算報告

報告事項：令和6年度事業計画・令和6年度収支予算

全会員数：253 会員

出席数：出席 94 会員 委任状 122 会員 合計 216 会員

懇親会出席：97 名

#### ◎理事会：議案等の審査

第1回：令和6年7月17日(水)

令和5年度事業報告・令和5年度収支決算報告の審査

第2回：令和6年8月23日(金)

役員を選任

第3回：令和6年12月13日(金)

令和6年度事業実施報告(中間報告)等

第4回：令和7年4月23日(水)

令和7年度事業計画及び令和7年度収支予算

□決算額：3,144,182 円(予算額 4,300 千円)



昨年の総会の様子(会場：東京會館)

## 7 管理運営

### (1) 事務局人件費(補助・継続)

事業内容

会長の報酬及び協会職員の給与並びに区派遣職員の社会保険料事業主負担分

決算額: 61,883,373 円(予算額 66,333 千円)

### (2) 事務局の維持管理(補助・継続)

事業内容

事務局の維持管理に要する経費

- 旅費、通信費、印刷製本費、消耗品費、光熱水費、賃借料
- 警備、清掃、消防点検等各種委託経費
- 事務機器類リース料

決算額 : 16,610,716 円 (予算額 20,042 千円)